

子どもの心を育む道徳教育

道徳主任

1月18日(土)に道徳地区公開講座を行います。各学級の道徳授業をご覧いただいた後、3校時に体育館で講演会を行います。調布市 教育委員会 統括指導主事 海馬澤一人先生をお招きし、「学校・家庭・地域で子どもの心を育むために」というテーマでご講演いただく予定です。学校でどのように道徳授業が行われているのか、学校・家庭・地域が連携して子どもを育てていくとはどういうことなのか、改めて考える良い機会となると思います。たくさんの方にご参加いただくと嬉しいです。どうぞよろしくお願い致します。

道徳授業時間

第1校時	2年
	4年
	6年1組
第2校時	1年
	3年
	5年
	6年2組

授業内容

1年生	「はしのうえのおおかみ」
2年生	「くりのみ」
3年生	「絵葉書と切手」
4年生	「思いやりのかたち」
5年生	「くずれ落ちただんボール箱」
6年生	「ここを走れば」



* 2学期末に配布した「土曜授業公開のお知らせ」の授業時間から修正しています。

伝統文化教育について

伝統文化担当

駕籠町小学校では、日本のすばらしさを学ぶとともに、将来日本の文化を自ら発信し、日本の魅力を世界に伝えるために、様々な視点から日本の伝統文化教育を毎年実施しています。

今年度は、11月の音楽会で5年生が和太鼓の合奏に挑戦しました。締太鼓と長胴太鼓の合奏曲では、迫力ある掛け声と供に体育館に鳴り響く和太鼓の合奏を披露しました。講師に石倉初美先生をお呼びして、3年生には和太鼓のグループ合奏を、5年生には合奏曲の演奏のポイントを教えてくださいました。

このほかに10月に落語家の三遊亭圓福先生をお迎えし、3・4年生を対象とした「落語教室」を実施しました。一人で何役もこなし、扇子で侍の刀や物売りを演出するなど、多彩な芸を披露されていました。

また12月には、箏の講師、中野宏子先生をお招きして、4年生を対象に箏の特別授業を行いました。

箏の名曲「六段の調べ」を鑑賞し、箏の美しい音色に聴き入り、いろいろな奏法を食い入るように鑑賞し、その後実際に箏を使って「さくらさくら」の旋律を演奏しました。この他に、5年生を対象にした山田卓先生を招いての「長唄特別授業」、3学期には2年生を対象とした「日本舞踏体験」が開催されます。

日本の伝統ある文化を継承していけるよう、工夫して実施したいと考えています。

